

車両保険は必要かどうか？

有) 三宅保険事務所

1. 車両保険とは？

補償の対象	人（治療費等）	物（賠償や補償）
相手への賠償	相手にケガをさせた  対人賠償責任保険	相手の物(車など)を壊した  対物賠償責任保険
	自分や同乗者がケガをした  人身傷害保険 搭乗者傷害保険 無保険車傷害保険 自損事故保険	自分の車が壊れた  車両保険

車両保険とは、自分の車の修理費等を補償してくれる保険です。
事故で車が壊れた場合の修理費の他、盗難やいたずら・落書きの被害に遭った、飛び石でガラスにひびが入った、水害で車が水没してしまった時にも利用することができます。

2. 車両保険のタイプ

	自損事故・盗難	当て逃げ 動物との接触	車との衝突	備考
フルカバー(一般)	○	○	○	保険料は高い
エコノミー(車対車)	×	○	○	保険料は少し高い

*2023年1月から、多くの保険会社で「当て逃げや動物との接触による損害」が、エコノミータイプで補償されるようになりました(上の表の赤い○です)。

3. 相手があったら相手が払うのでは？

- ・追突のように相手が100%悪い事故であれば、相手(の保険)が全て払います。
- ・こちらにも過失がある事故は、「自分の車の損害のうち自分の過失分」は自分で負担します。
- ・例えば、自分の車の損害が100万円、過失が5:5だったら、100万円の5割(50万円)は自己負担となります。もし車両保険があれば、その50万円が保険から出ます。

4. 車両保険があったほうが良い場合

①ローンが残っている車、②新車(3年目くらいまで)、③高級車



- ・ローンがある場合、もし盗難にあたり自損事故で廃車になってしまったら、車はないのにローンだけ残ってしまうという恐ろしい事態が起こります(実際に、400万円の新車を路上で盗まれたお客様がいます)。
- ・最近の車のバンパーは、部分修理ができない材質のためバンパーまるごと交換となります。さらにヘッドランプやフォグランプが一体となっているタイプだと、バンパーだけでも高価になります。
- ・外車の場合、輸入部品となるため修理費はさらに高額になります。
- ・車両価格(車の価値)は毎年安くなっていきます。車価が50万円以下になった場合は、車両保険はなくてもよいと思います。かけるとしても、エコノミータイプで十分だと思います。



☆下記サイトの説明がわかりやすいです。

[車両保険は必要？判断基準とつけない場合のデメリット・自動車保険一括見積もり \(insweb.co.jp\)](https://insweb.co.jp)